

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
L20/L10a	簡易復元	リンク先がUNCパスではなくネットワークドライブ内となっているショートカットにおいて、リンク先に接続するために資格情報(ユーザー/パスワード)が必要とされる場合、このショートカットを簡易復元にて復元することができない。	簡易復元にて処理するショートカットのリンク先がネットワークドライブ内の場合でもショートカットが復元されるように修正しました。	【レベル】 V3L10 【グレード】 共通	なし	
	クライアントインストーラ	「デバイスの暗号化」やBitLocker等のデバイス暗号化機能を使用するため、future瞬快クライアント機能インストール時に環境復元を使用しない設定としたが、エラーが発生してインストールできない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L10 【グレード】 共通	なし	
	インストーラ共通	Windows 10 Pro Education バージョン1809 (RS5)へ各機能を実インストールする際に「このOSは未サポートです。処理を続行しますか?」という警告メッセージが表示されてしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L10 【グレード】 共通	警告メッセージの画面で、OKボタンを押せば、インストール可能です。	
	クライアント	future瞬快クライアントの環境設定画面から簡易復元を適用する際に、タスクトレイプログラム(BzTray.exe)がアプリケーションエラーにて異常終了する場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L10 【グレード】 共通	なし	
	クライアント	future瞬快クライアントのパスワードを変更する際、変更前と変更後のパスワードの違いが、アルファベットの太文字と小文字のみである場合、変更内容が反映されない。 【例】pass→PASS	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L10 【グレード】 共通	先に、大文字と小文字以外で異なるパスワードに変更してから、目的のパスワードに変更してください。 【例】pass→pass1→PASS	
L20	Windows OS	サポートOS追加	Windows10 May 2019 Update (Version 1903)に対応しました。	【レベル】 V3L10 【グレード】 共通	-	
L20a/L10b	環境復元	修復モードで運用しているクライアントPCが、意図せず修復無効モードで起動される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L10 V3L10a V3L20 【グレード】 共通	なし	
L20b/L10c	環境復元	ドライブのルート修復対象外にし、かつそのドライブ内の一部を修復対象としている場合に、環境復元機能が動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L10 V3L10a V3L10b V3L20 V3L20a 【グレード】 共通	なし	
L20c/L10d	環境復元	環境復元機能の動作モードを修復モードに変更する際のPC再起動時に、STOPエラーなどの異常にて正常な再起動ができなかった場合、レジストリファイルに矛盾が含発生し、PCが起動できなくなる場合がある。	レジストリファイルに矛盾が発生しないよう、プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L10c以前 V3L20b以前 【グレード】 共通	なし	
	管理コンソール	ユーザー情報のCSVインポート時に、存在しないグループ(所属を指定したユーザー情報でもインポートができてしまい、グループが無いことで、管理コンソール上に表示されないユーザーができてしまう。	プログラムを改修し、存在しないグループが指定されていた場合にはエラーとするようにしました。	【レベル】 V3L10c以前 V3L20b以前 【グレード】 共通	既に存在するグループを指定したユーザー情報のCSVをインポートしなおしてください。	
	サーバ	管理コンソールにて、多数の機器情報を一度にインポートすると、管理コンソールがアプリケーションエラーとなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L10c以前 V3L20b以前 【グレード】 共通	なし	
	利用情報収集	機能追加	アプリケーションの利用回数を収集する機能では、キャプション名の完全一致もしくは前方一致にてアプリケーション判定を行うようになっていましたが、一部一致や後方一致でのアプリケーション判定も可能となりました。	【レベル】 V3L10c以前 V3L20b以前 【グレード】 共通	なし	
	ディスクイメージ配信	既にサーバ機能に登録されているクライアントPCの台数が多い場合に、リモートPC登録を行うとアプリケーションエラーが発生する場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L10c以前 V3L20b以前 【グレード】 AG	なし	
	ディスクイメージ配信	管理コンソールの機器管理より機器のプロパティのOS情報を開き、ネットワーク情報の[優先利用]の設定にて右側のNICを「通常利用する」NICに指定した場合、システム全体のコントロールを起動して終了すると次のエラーが発生する。 future瞬快サーバとの同期処理に失敗しました。今回設定したクライアント情報が反映されていない可能性があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L10c以前 V3L20b以前 【グレード】 AG	なし	
	ウイルス対策ソフト連携	Windows 10 環境における Windows Defender との連携において、Windows Defender のエンジンが更新されても最新の機能が保たれない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L10c以前 V3L20b以前 【グレード】 共通	なし	
L20c/L10d	リモート画面操作	複数PC操作のレイアウト表示にて背景に画像を設定していた場合、画面をマウスホイールにてスクロールさせると、背景画像の描画が正しく行われず、画面が崩れる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L10c以前 V3L20b以前 【グレード】 共通	スクロールバーによるスクロールを行ってください。	
	ツール	サイレントインストール定義ファイル作成ツールにて定義ファイルを作成した場合、環境復元機能の一時ファイルの容量に、作成ツールを実行したPCのシステムドライブの空き容量の半分の容量が設定される。 このため、デスクの空き容量が十分なPCにて定義ファイルを作成すると、サイレントインストール時に一時ファイルが作成できずインストールに失敗する。	サイレントインストール定義ファイル作成ツールにて、定義ファイルを作成した場合、環境復元機能の一時ファイルの容量は、サイレントインストールを行うクライアントPCの空き容量の半分の容量が設定されるよう、プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L10c以前 V3L20b以前 【グレード】 共通	サイレントインストール定義ファイル作成ツールにて作成された定義ファイルをテキストエディタにて編集し、一時ファイルの容量を適切な値に変更してください。	
L30	Windows OS	サポートOS追加	Windows 10 November 2019 Update (Version 1909)に対応しました。	【レベル】 V3L10c以前 V3L20b以前 【グレード】 共通	-	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
L204/L30c	Windows OS	サポートOS追加	サポートOSとして「Windows 10 Pro for Workstations」を追加しました。	【レベル】 V3L20c以前 V3L30 【グレード】 共通	—	
	リモート画面操作	機能改善	モニタリング中の画面のアスペクト比を詳細に設定できるようにプログラムを改修しました。	【レベル】 V3L20c以前 V3L30 【グレード】 共通	なし	
	簡易復元	機能改善	簡易復元の項目である「ウェブブラウザの制限」のデフォルト値が「ひな型のプロキシを適用する」となっており、これを見落とすことで意図せずプロキシ設定が変わってしまう可能性があるため、デフォルト値を「何もしない」に変更しました。	【レベル】 V3L20c以前 V3L30 【グレード】 共通	なし	
	お知らせ	機能改善	お知らせ機能の通知内容を変更しました。 【バッテリー残量】 バッテリー残量に合わせてバッテリーの画像を変更し、視認性を高めました。 【ネットワーク状態】 ネットワークの接続状態、未接続状態によってネットワークの画像を変更し、視認性を高めました。	【レベル】 V3L20c以前 V3L30 【グレード】 共通	なし	
	管理コンソール	管理コンソールから手動で新規追加した機器が利用情報の画面に表示されない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L20c以前 V3L30 【グレード】 共通	管理コンソールの利用情報の画面でF5キーを押下し、最新情報を取得してください。	
	管理コンソール	管理コンソールでの機器のプロパティ設定において「OS情報」にて2つのネットワーク情報を設定した場合、無線LANのネットワーク設定を「ネットワーク情報を更新する」に設定しても無線LANの情報が更新されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L20c以前 V3L30 【グレード】 共通	なし	
	環境復元	PC起動時にPageUpキーを押して修復無効モードに切り替えた場合、そのタイミングのPC起動では修復無効モードにて起動するが、次のPC起動からは修復モードに戻ってしまう。	2度目のPC起動以降も、修復無効モードを維持するようにプログラムを改修しました。	【レベル】 V3L20c以前 V3L30 【グレード】 共通	なし	
	ディスクイメージ配信	ディスクイメージ配信機能において、OfficeがインストールされていないにもかかわらずOfficeアクティベーション処理が指示した場合、「...方式でアクティベーションを行います」のメッセージが表示されたまま処理が継続しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L20c以前 V3L30 【グレード】 AG	なし	
	サーバインストーラ	サーバ機能インストール時に、既にSQL Serverがインストールされている場合、DB構築が可能な状態であるかの判断が正しく行われておらず、インストールに失敗する。	SQL Serverの状態を確認し、処置方法を表示するようプログラムを改修しました。	【レベル】 V3L20c以前 V3L30 【グレード】 共通	なし	
	かんたんサインイン	かんたんサインインの機能にて、学年を選択した後、戻って別の学年を選択すると、最初に選択した学年の組情報が表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L20c以前 V3L30 【グレード】 共通	なし	
	アップデート連携	WindowsUpdate連携機能にてWSUSサーバを指定した場合であっても、マイクロソフトのアップデートサイトにアクセスしてしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L20c以前 V3L30 【グレード】 共通	なし	
	アップデート連携	WindowsUpdate連携の更新プログラム適用はすべて成功しているにも関わらず、結果がエラーとなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L20c以前 V3L30 【グレード】 共通	なし	
L40	Windows OS	サポートOS追加	Windows 10 May 2020 Update (Version 2004)に対応しました。	【レベル】 V3L20c以前 V3L30 【グレード】 共通	—	
L30d/L40a	環境復元	修復モードではAutodesk社の2020年版ネットワークライセンス製品を起動できなくなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L30c以前 V3L40 【グレード】 共通	なし	
	サーバインストーラ	サーバ機能のレベルアップまたは複数アップを実施するとサーバ機能に異常が発生し、管理コンソールのリアルタイムログに「例外が発生したため、スレッドを停止します。」と表示される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L30c V3L40 【グレード】 共通	アップデートキャッチャーにて公開している修正パッチを適用してください。	対象バージョンを新規インストールした場合は発生しません。
L50	Windows OS	サポートOS追加	Windows 10 October 2020 Update(20H2)に対応しました。	【レベル】 V3L30c以前 V3L40 【グレード】 共通	—	
L40b/L50a	リモート画面操作	Version1803以降のWindows10のクライアントPCを遠隔キー操作する場合において、NumLock、CapsLockもしくはScrollLockの状態が、コンソールPCとクライアントPCにて一致しない場合、関連するキー入力がクライアント側へ正しく伝わらない。	クライアント側のNumLock、CapsLockおよびScrollLockの状態をコンソール側と同じにするための機能を、遠隔操作時の「特殊キー」を送信するボタンに追加しました。	【レベル】 V3L40c以前 V3L50 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作	リモート画面操作での「コマンド」実行機能では、管理者への昇格が必要なコマンドを実行できない。	「コマンド」実行機能にローカルシステム権限での実行オプションを追加しました。	【レベル】 V3L40a以前 V3L50 【グレード】 共通	なし	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	リモート画面操作	ドリームクラブ社のSafetyAnchorと同居したクライアント環境では、Windowsからのサインアウトに時間がかかる。もしくはWindowsからサインアウトできない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L40a以前 V3L50 【グレード】 共通	なし	
	ディスクイメージ配信	ディスクイメージ配信においてOfficeのMAK認証を実施する際、Officeのライセンスが必要以上に消費される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L40a以前 V3L50 【グレード】 AG	なし	
	アップデート連携	WindowsUpdate連携において、OS側の更新プログラム適用処理にて異常が発生し、OSからの完了通知が無い場合、クライアント側のWindowsUpdate連携処理が待ち状態となり終了しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L40a以前 V3L50 【グレード】 共通	なし	
	アップデート連携	WindowsUpdate連携の終了処理において、更新プログラムが正しく適用されているにもかかわらず、管理コンソール上では「適用失敗」や「タイムアウト」と表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L40a以前 V3L50 【グレード】 共通	なし	
	アップデート連携	WindowsUpdate連携実施時の同時処理台数が多い場合、future瞬快サーバが過負荷状態となり、処理に成功しても、実行結果が「成功」ではなく「キャンセル」となる場合がある。	future瞬快クライアントからfuture瞬快サーバへの通信頻度を下げ過負荷状態を発生しにくくしました。	【レベル】 V3L40a以前 V3L50 【グレード】 共通	同時実行する台数を少なくしてください。	
L60	Windows OS	サポートOS追加	Windows 10 May 2021 Update(21H1)に対応しました。	【レベル】 V3L40a以前 V3L50 【グレード】 共通	-	
L40b+/L50a+/L60+	ウイルス対策ソフト連携	Trend Micro Apex One 2019 ビルド9565以降がインストールされた環境に瞬快クライアントをインストールすることができない。	Trend Micro Apex One 2019の「不正変更防止サービス」が有効な状態でも、瞬快クライアントをインストールできるよう、瞬快のインストーラの動作を変更しました。	【レベル】 V3L40b以前 V3L50a以前 V3L60 【グレード】 共通	-	Trend Micro Apex One 2019の仕様変更により「不正変更防止サービス」が有効な状態でもブリーズ問題が出なくなった代わりに「不正変更防止サービス」を無効化できなくなったことに対応したものです。
L70	Windows OS	サポートOS追加	Windows 10 November 2021 Update(21H2)に対応しました。	【レベル】 V3L50a以前 V3L60 【グレード】 共通	-	
L60b/L70a/L80	Windows OS	サポートOS追加	Windows Server 2022に対応しました。	【レベル】 V3L60a以前 V3L70 【グレード】 共通	-	
	ディスクイメージ配信	サポート製品追加	ボリュームライセンス版のMicrosoft Office のアクティベーションを実施する機能の処理対象として次の製品を追加しました。 ・Office LTSC 2021	【レベル】 V3L60a以前 V3L70 【グレード】 AG	-	
	ディスクイメージ配信	機能追加	拡張サービスにて次の動作となるサービスを作成できるようにしました。 ・ディスクイメージ取得の際に内蔵ディスクから起動させない ・ディスクイメージ配信の際に内蔵ディスクから起動させない	【レベル】 V3L60a以前 V3L70 【グレード】 AG	-	
	クライアント	修復モードでは、2022年度版のAutodesk社の製品は、ライセンス認証が正常動作せず使用できない。	2022年度版Autodesk社製品のライセンス認証処理に対応しました。	【レベル】 V3L60a以前 V3L70 【グレード】 共通	なし	
	管理コンソール	「コンソールの環境設定」の「クライアントPCへの命令送信後の確認画面」の選択肢にて「閉じない」が選択されている状態でも、機器管理の画面でF5を押した場合に表示される確認画面が必ず閉じられてしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L60a以前 V3L70 【グレード】 共通	なし	「コンソールの環境設定」の「クライアントPCの最新化方法」の選択肢にて「SHIF+F5キーにて最新化する」が選択されている状態でSHIF+F5を押した場合も同様です。
	簡易復元	簡易復元の「メンテナンス環境」をクライアントに適用しても、スタートメニュー変更禁止の制限が解除されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L60a以前 V3L70 【グレード】 共通	なし	
	利用情報収集	利用情報収集機能にて収集されるPC種別の情報に誤りがあり、タブレットがデスクトップと表示される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L60a以前 V3L70 【グレード】 共通	なし	
	利用情報収集	アプリケーションの利用回数収集機能では、Shift-JISで扱えない文字がキャプションに使用されているアプリの利用回数をカウントできない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L60a以前 V3L70 【グレード】 共通	なし	
	アップデート連携	アップデート連携処理において、何らかの理由でWindowsへの自動ログオンができなかった場合、ログオン画面の状態から先に進まず処理が止まってしまう。	自動ログオンできない場合でも処理が継続するように、プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L60a以前 V3L70 【グレード】 共通	PCを操作し、Windowsへログオンさせると処理が継続します。	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	アップデート連携	アップデート連携の実行中に、何らかの理由でWindowsのAPI(Windows Update Agent API) から応答が返らない状態になると、アップデート連携が進まなくなってしまう。	APIからの応答が10分間ない場合はPCを再起動させて、処理が継続するように、プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L60a以前 V3L70 【グレード】 共通	なし	
	アップデート連携	アップデート連携のスケジュールの実行完了後、管理コンソールの機器管理画面に表示されるクライアントPCの動作モードが「修復モード」になるべき場合でも「修復無効モード」となる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L60a以前 V3L70 【グレード】 共通	なし	
	ディスクイメージ配信	クライアントPCに有線LANと無線LANの両方を設定している場合、2つ目のNICに関し、システムリカバリコンソールのクライアントPCのプロパティを開き、クライアントPCの詳細設定を変更しても変更されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L60a以前 V3L70 【グレード】 AG	なし	
	ディスクイメージ配信	管理コンソールの[機器管理]-[機器操作]-[メンテナンス]のタブメニューを開き、100台以上の機器情報をエクスポートした場合、次の情報が最大100台分の出力となる。 ・システムリカバリの機器情報 ・PC管理情報.sro ・システムリカバリの無線LAN情報 ・PC管理情報.wlan	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L60a以前 V3L70 【グレード】 AG	なし	
	ディスクイメージ配信	管理コンソールにて「機器のプロパティ」のコメント欄に、半角のカンマ記号もしくは改行を入力すると、システムリカバリコンソールの起動に失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L60a以前 V3L70 【グレード】 AG	既存PCのプロパティを変更した場合は元に戻してください。 新規PC追加時にプロパティ入力した場合は当該PCを削除してください。	
	かんたんリカバリ	かんたんリカバリのディスクイメージ取得画面にて2本目のディスクを選択した場合、選択したディスクの空き容量を表示する際の描画処理に問題があり、状況によっては潰れた文字が表示される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 V3L60a以前 V3L70 【グレード】 AG	なし	